



第46号

発行 府中市消防団
編集 府中市消防団広報委員会
(府中市行政管理部防災危機管理課内)
TEL 042・335・4068

【府中市消防団員職業別構成割合】	
公務員	7.6%
農林業	6.7%
商業	1.7%
小売業	9.6%
金融保険業	2.2%
不動産業	3.4%
サービス業	1.3%
建築業	20.7%
製造業	4.6%
商社	0.7%
飲食店	4.8%
造船業	2.2%
運輸通信業	5.3%
電気ガス業	5.8%
学生	2.1%
その他	9.6%



消防署震災図上訓練の見学

府中市消防団は、本年も4月1日(土)に平成29年度入団式を執り行いました。度々当初の予定よりも、高野市長をはじめ多くの来賓の方々にご臨席を賜り、心より御礼申し上げます。

平成28年度も、この入団式に21名の方々が参加し、今年度も新たに16名の方々が加入しました。計41名の新入団員を迎え、スタートすることになりました。

地震発生は、昨年4月に熊本地震、7月に広島県に大きな被害がもたらされたことに加え、8月の豪雨による土砂災害、9月の台風10号による被害など、連続した災害が多発しました。また、10月の豪雨による被害も発生し、大きな被害をもたらしました。

この度の災害発生は、人的被害や住宅被害が多数発生し、被害が甚大です。また、被害を受けた方々の生活に大きな影響を与えています。消防団員は、このような災害発生時には、迅速に駆けつけ、被害の拡大防止や救助活動などに取り組む必要があります。

消防団員は、地域住民の安全を守るために、日々訓練を重ねています。今後も、地域住民の安全を守るために、より一層の努力を怠りません。



機関員操縦訓練

府中市消防団は、本年も4月1日(土)に平成29年度入団式を執り行いました。度々当初の予定よりも、高野市長をはじめ多くの来賓の方々にご臨席を賜り、心より御礼申し上げます。

平成28年度も、この入団式に21名の方々が参加し、今年度も新たに16名の方々が加入しました。計41名の新入団員を迎え、スタートすることになりました。

地震発生は、昨年4月に熊本地震、7月に広島県に大きな被害がもたらされたことに加え、8月の豪雨による土砂災害、9月の台風10号による被害など、連続した災害が多発しました。また、10月の豪雨による被害も発生し、大きな被害をもたらしました。

この度の災害発生は、人的被害や住宅被害が多数発生し、被害が甚大です。また、被害を受けた方々の生活に大きな影響を与えています。消防団員は、このような災害発生時には、迅速に駆けつけ、被害の拡大防止や救助活動などに取り組む必要があります。

消防団員は、地域住民の安全を守るために、日々訓練を重ねています。今後も、地域住民の安全を守るために、より一層の努力を怠りません。



府中市消防団長 本間 郁浩

新体制にあたり 府中市消防団長 本間 郁浩

府中市消防団は、本年も4月1日(土)に平成29年度入団式を執り行いました。度々当初の予定よりも、高野市長をはじめ多くの来賓の方々にご臨席を賜り、心より御礼申し上げます。

平成28年度も、この入団式に21名の方々が参加し、今年度も新たに16名の方々が加入しました。計41名の新入団員を迎え、スタートすることになりました。

地震発生は、昨年4月に熊本地震、7月に広島県に大きな被害がもたらされたことに加え、8月の豪雨による土砂災害、9月の台風10号による被害など、連続した災害が多発しました。また、10月の豪雨による被害も発生し、大きな被害をもたらしました。

この度の災害発生は、人的被害や住宅被害が多数発生し、被害が甚大です。また、被害を受けた方々の生活に大きな影響を与えています。消防団員は、このような災害発生時には、迅速に駆けつけ、被害の拡大防止や救助活動などに取り組む必要があります。

消防団員は、地域住民の安全を守るために、日々訓練を重ねています。今後も、地域住民の安全を守るために、より一層の努力を怠りません。



府中市消防署長 佐藤 俊夫

佐藤俊夫消防署長就任挨拶

4月1日(土)に平成29年度入団式を執り行いました。度々当初の予定よりも、高野市長をはじめ多くの来賓の方々にご臨席を賜り、心より御礼申し上げます。

平成28年度も、この入団式に21名の方々が参加し、今年度も新たに16名の方々が加入しました。計41名の新入団員を迎え、スタートすることになりました。

地震発生は、昨年4月に熊本地震、7月に広島県に大きな被害がもたらされたことに加え、8月の豪雨による土砂災害、9月の台風10号による被害など、連続した災害が多発しました。また、10月の豪雨による被害も発生し、大きな被害をもたらしました。

この度の災害発生は、人的被害や住宅被害が多数発生し、被害が甚大です。また、被害を受けた方々の生活に大きな影響を与えています。消防団員は、このような災害発生時には、迅速に駆けつけ、被害の拡大防止や救助活動などに取り組む必要があります。

消防団員は、地域住民の安全を守るために、日々訓練を重ねています。今後も、地域住民の安全を守るために、より一層の努力を怠りません。

入退団式

4月1日(土)、府中市消防団入退団式が市庁舎大会議室で行われました。高野市長をはじめ、佐藤署長、各消防団長、消防団員、ご来賓の方々など、約100名が参加しました。

式には、佐藤署長による訓辞があり、消防団員に対する期待や、地域住民の安全を守るための努力を求められました。また、高野市長による祝辞もあり、消防団員への激励が行われました。

入退団式では、新入団員16名と退団者3名が参加しました。新入団員は、消防団員としての責任と使命を誓い、地域住民の安全を守るために、日々訓練を重ねていきます。

退団者の方々は、消防団員としての経験とスキルを活かし、地域社会に貢献していただきます。また、消防団員としての思い出を語り、感謝の言葉を述べられました。

式は、厳粛な雰囲気で行われ、消防団員としての誇りと責任を感じさせるものでした。今後も、消防団員は、地域住民の安全を守るために、より一層の努力を怠りません。



分団長への辞令交付

分団長への辞令交付が行われました。分団長は、消防団員としての責任と使命を誓い、地域住民の安全を守るために、日々訓練を重ねていきます。

辞令交付は、厳粛な雰囲気で行われ、分団長への期待と激励が行われました。分団長は、消防団員としての誇りと責任を感じ、地域住民の安全を守るために、より一層の努力を怠りません。

辞令交付後、分団長は、消防団員としての責任と使命を誓い、地域住民の安全を守るために、日々訓練を重ねていきます。また、消防団員としての思い出を語り、感謝の言葉を述べられました。

辞令交付は、厳粛な雰囲気で行われ、分団長への期待と激励が行われました。分団長は、消防団員としての誇りと責任を感じ、地域住民の安全を守るために、より一層の努力を怠りません。



マンホール噴出防止工法

府中市消防団は、本年も4月1日(土)に平成29年度入団式を執り行いました。度々当初の予定よりも、高野市長をはじめ多くの来賓の方々にご臨席を賜り、心より御礼申し上げます。

平成28年度も、この入団式に21名の方々が参加し、今年度も新たに16名の方々が加入しました。計41名の新入団員を迎え、スタートすることになりました。

地震発生は、昨年4月に熊本地震、7月に広島県に大きな被害がもたらされたことに加え、8月の豪雨による土砂災害、9月の台風10号による被害など、連続した災害が多発しました。また、10月の豪雨による被害も発生し、大きな被害をもたらしました。

この度の災害発生は、人的被害や住宅被害が多数発生し、被害が甚大です。また、被害を受けた方々の生活に大きな影響を与えています。消防団員は、このような災害発生時には、迅速に駆けつけ、被害の拡大防止や救助活動などに取り組む必要があります。

消防団員は、地域住民の安全を守るために、日々訓練を重ねています。今後も、地域住民の安全を守るために、より一層の努力を怠りません。

府中市合同水防訓練

平成29年度府中市消防団17分団に入団しました。府中市消防団は、本年も4月1日(土)に平成29年度入団式を執り行いました。度々当初の予定よりも、高野市長をはじめ多くの来賓の方々にご臨席を賜り、心より御礼申し上げます。

平成28年度も、この入団式に21名の方々が参加し、今年度も新たに16名の方々が加入しました。計41名の新入団員を迎え、スタートすることになりました。

地震発生は、昨年4月に熊本地震、7月に広島県に大きな被害がもたらされたことに加え、8月の豪雨による土砂災害、9月の台風10号による被害など、連続した災害が多発しました。また、10月の豪雨による被害も発生し、大きな被害をもたらしました。

この度の災害発生は、人的被害や住宅被害が多数発生し、被害が甚大です。また、被害を受けた方々の生活に大きな影響を与えています。消防団員は、このような災害発生時には、迅速に駆けつけ、被害の拡大防止や救助活動などに取り組む必要があります。

消防団員は、地域住民の安全を守るために、日々訓練を重ねています。今後も、地域住民の安全を守るために、より一層の努力を怠りません。

新入団員教育訓練



新入団員規律訓練

平成29年度府中市消防団17分団に入団しました。府中市消防団は、本年も4月1日(土)に平成29年度入団式を執り行いました。度々当初の予定よりも、高野市長をはじめ多くの来賓の方々にご臨席を賜り、心より御礼申し上げます。

平成28年度も、この入団式に21名の方々が参加し、今年度も新たに16名の方々が加入しました。計41名の新入団員を迎え、スタートすることになりました。

地震発生は、昨年4月に熊本地震、7月に広島県に大きな被害がもたらされたことに加え、8月の豪雨による土砂災害、9月の台風10号による被害など、連続した災害が多発しました。また、10月の豪雨による被害も発生し、大きな被害をもたらしました。

この度の災害発生は、人的被害や住宅被害が多数発生し、被害が甚大です。また、被害を受けた方々の生活に大きな影響を与えています。消防団員は、このような災害発生時には、迅速に駆けつけ、被害の拡大防止や救助活動などに取り組む必要があります。

消防団員は、地域住民の安全を守るために、日々訓練を重ねています。今後も、地域住民の安全を守るために、より一層の努力を怠りません。

入団して間もなく、大國魂社境内で行われた新入団員規律訓練に参加しました。訓練では、服装のチェック、整列の仕方、解散の仕方など、消防団員としての基本的なことを教えていただきました。普段の生活でも、難しさを覚えたものの、新しい仲間と一緒に行うことで、緊張感が和らぎました。同会場で、正副分団長研修も行われていて、様子を見学する時間もありませんでしたが、その動作は、とてもキビキビとしていて、見ていて身引き締まる思いでした。

今後、このような訓練や活動でも積極的に参加し、消防団員としての技術を早く身に付け、少しでも地域の安心・安全のためにお役に立てるように、頑張りたいと思います。

第17分団 種坂 晃一



第1・9・15分団の新型消防ポンプ車

第1・9・15分団の消防ポンプ車が新しくなりました

第15分団に15年前に配備された愛着のあるポンプ車が、2月17日、新たなポンプ車に生まれ変わりました。新しいポンプ車には、ホーススカー(火点までホースを延長するための台車)の自動リフト収納装置、バックモニター、新型サイレン・アンテナ、流量等を表示するパネルなど、以前のポンプ車にはなかった装備が多く備わっています。また、従来に比べ、軽量化が図られ、運転しやすくなりました。さらに、より高性能な真空ポンプが装備されたため、放水までに要する時間が以前より短縮されました。

現在は、日々の点検において、各種の操作や設定をいろいろと試しているところですが、団員同士で、各々が気づいた安全上の注意点を共有し、より安全に運用できるように取り組んでいます。

6月4日に開催した新型ポンプ車のお披露目式では、地域の皆様に新たな装備や運用についてご説明し、より迅速な活動が可能になったことをご報告させていただきました。

旧ポンプ車以上に愛着を持って、新たなポンプ車とともに、火災予防、火災・災害時の迅速で安全な行動を心がけていきたいと思っております。

第15分団広報委員 才丸 満

